



伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

ジオ文ごうカフェ

湯ヶ島文士村
と、呼ばれる場所があったんだよ



於 修善寺 長倉書店

2026 10.4^①
10:00
▼
11:30

宇野千代が、NHKの朝ドラの 主役を飾ると聞いて…

伊豆半島ジオパークトレイルのひとつ、「天城文学の路」。そのテーマのみなもとは、あの頃の湯ヶ島と、若かりし文士たち。伊豆市資料館で開催中の企画展 **100年前の青春 宇野千代と湯ヶ島文士村** 企画製作に携わったチームを迎え、天城の文学を今に伝える取組の裏話をさかんに、天城のお菓子をつまみながらジオカフェしましょう。

共催

一般社団法人美しい伊豆創造センター×伊豆市教育委員会

山深い天城の麓にある湯ヶ島は、深い溪谷をもつ山あいの集落で、伊豆半島が南洋の火山であった時代の古い地層でできています。かつての火山活動が残した地熱は鉱床を作り、金山がにぎわいをもたらした時代もありました。この地熱は地下水を温め、その地名が表すとおり、今につながる豊かな温泉をもたらしています。

大正・昭和の時代、都会の喧騒から遠く離れた山奥にあるこの土地は、湯ヶ島文士村と呼びうるほど、多くの文人たちを魅了しました。

2026 年後半の NHK の連続テレビ小説「ブラッサム」のモデルとなった宇野千代も湯ヶ島に通った文人のひとり。

今回のジオ文豪カフェは、そんな宇野千代と湯ヶ島の繋がりに焦点を当てた伊豆市資料館の展示に携わったメンバーが集います。企画展の舞台裏のエピソードや、文士村を今につなげる取り組みなどについて、肩ひじ張らない気楽なおしゃべりの場としたいと思います。



神田 航平氏
(一般社団法人伊豆文士村 理事)
湯ヶ島にゆかりを持ち、湯ヶ島と伊豆の文学の普及活動を行っている。



松本 由奈氏
(伊豆市教育委員会 学芸員)
伊豆市資料館の企画展「100 年前の青春 宇野千代と湯ヶ島文士村」をコーディネート。



徳山 加陽氏
(長泉町井上靖文学館 学芸員)
井上靖をはじめ、伊豆半島内外の文学に精通。今回の聞き手・進行役。

お申込は
こちらから



※会場に駐車場はありませんので、お車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用ください。

日時 || 令和 8 年 10 月 4 日 (日)
10:00 ~ 11:30 (受付 9:45 ~)

会場 || 長倉書店 2 F 伊豆市柏久保 552-4
伊豆箱根鉄道修善寺駅すぐ※

定員 || 会場 15 名
オンラインまたは録画配信あり

参加費 || 500 円 (お茶とお菓子付き)

お問合せ || 美しい伊豆創造センター
0558-72-0520 (平日 8:30-17:15)

当日は午後から、伊豆市産業振興協議会が主催する伊豆市資料館と湯ヶ島めぐりツアーが開催されます。

ご希望の方は別途、伊豆市産業振興協議会へお申込ください。

お申込は伊豆市産業振興協議会HP
<https://kanko.city.izu.shizuoka.jp/>
あるいは電話：0558-72-7007 まで

